

がん対策推進計画の主な指標と進捗状況

1 がんにかからない生活習慣の確立

【生活習慣について】

指 標	策定時 (※1)	現状	目標	目標期限
○食塩摂取量の減少 (成人1日あたり平均摂取量)	男性 12.2g 女性 10.5g	H28 調査実施 予定	9.0g 7.5g	H33 年度 健康増進計画 と同様
○野菜摂取量の増加 (成人1日あたり平均摂取量)	294.9g	〃	350g	
○運動習慣者の割合の増加	男性 36.5% 女性 23.6%	〃	40% 35%	
○日常生活における歩数の増加	男性(20~64) 7,692 歩 女性(20~64) 6,549 歩 男性(65~) 5,590 歩 女性(65~) 5,133 歩	〃	9,000 歩 8,500 歩 7,000 歩 6,000 歩	
○生活習慣病のリスクを高める 量を飲酒している(※3)者の割 合の低下	男性 15.1% 女性 7.3% (※2)	〃	13.0% 6.4%	
○成人喫煙率の減少	男性 33.4% 女性 10.5%	〃	24% 6%	

(※1) H22 「県民健康栄養調査」

(※2) H22 「健康づくり県民意識調査」

(※3) 生活習慣病のリスクを高める飲酒量とは、純アルコール摂取量で男性 40g、女性 20g です。

2 がんの早期発見体制の強化

【検診受診率の向上】

指 標	策定時 (H23)	H24	H25	目標	目標期限
○がん検診受診率の向上 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報 告」	胃 18.8% 肺 36.3% 大腸 22.9% 乳 30.5% 子宮 27.0%	胃 18.1% 肺 35.9% 大腸 23.8% 乳 29.5% 子宮 26.9%	胃 17.8% 肺 33.7% 大腸 25.0% 乳 29.4% 子宮 27.3%	50%以上	5 年以内

【検診精度の向上】

指 標	策定時 (H23)	H24	目標	目標期限
○がん検診精検受診率の向上 厚生労働省「地域保健・健康増進事業 報告」	胃 87.1% 肺 90.9% 大腸 76.5% 乳 91.5% 子宮 86.8%	胃 86.4% 肺 87.9% 大腸 75.5% 乳 90.3% 子宮 83.6%	90%以上	5 年以内

3 質の高い医療が受けられる体制の充実

【がん医療を専門的に担う医療従事者の育成及び資質の向上について】

指 標	策定時 (H24)	H25	H26	目標	目標期限
○ がん分野の認定看護師の育成 ・認定看護師数	34名	43名	62名 (H27.8)	70名	5年以内
○ がん医療に専門的に携わる医療従事者の研修会参加の促進 (地域の医師等も含めた放射線・化学療法 の推進に関する研修会の開催)	9病院	9病院	10病院	10病院	

【がんと診断された時からの緩和ケアの推進について】

指 標	策定時 (H24)	H25	H26	目標	目標期限
○ がん診療に携わる全ての医療従事者 における緩和ケアに関する知識と技術 の習得(緩和ケア研修会の受講) ・医師受講数の増加 ・コメディカル受講者数の増加	562名 295名	676名 488名	789名 626名	850名 600名	5年以内

4 がん患者の支援体制の充実

【相談支援の充実について】

指 標	策定時 (H24)	H25	H26	目標	目標期限
○ 患者とその家族の悩みや不安にきめ細かく対応するための、より活用しやすい相談支援体制の整備 ・地域統括相談支援センターの設置 ・拠点病院の相談支援センター・総合相談支援センターにおける相談件数の増加	— 3,513件 (H23)	H25.9 設置 4,456件	同左 4,469件	設置する 増加する	25年度 5年以内
○ 拠点病院における診療実績等の情報の公表(拠点病院数)	—	10病院	10病院	10病院	5年以内

【在宅療養支援体制・地域緩和ケアの充実について】

指 標	策定時 (H24)	H25	H26	目標	目標期限
○ 診療所、訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業所等の連携による在宅療養・緩和ケア体制の充実 ・在宅医療を担う開業医グループへの参加医師数の増加 ・訪問看護ステーション数の増加(人口10万対)	188人 3.6施設	190人 4.07施設	192人 4.65施設	増加する 4.5施設	5年以内

【がん患者の活動支援について】

指 標	策定時 (H24)	H25	H26	目標	目標期限
○ がん患者の不安や悩みを軽減し支援するためのピア・サポーターの養成及びピアサポート活動等の推進 ・ピア・サポーター数の増加	0名	28名	38名	60名	5年以内

【がんの教育・普及啓発】

指 標	策定時 (H24)	H25	H26	目標	目標期限
○ 教育機関との連携のもと、子どもが、がんとがん患者に対する正しい理解を深める健康教育の実施 ・健康教育でのがん教育の実施	—	—	小中高5校をモデル校として実施	国の検討結果を踏まえ設定予定	5年以内
○ ボランティア団体等の協力によるがんを含む健康に関する正しい知識の普及啓発の推進 ・がん予防推進員数の増加	357名	433名	456名	700名	5年以内

5 働く世代や小児へのがん対策の充実

【就労支援について】

指 標	策定時 (H23)	H24	H25	H26	目標	目標期限
○ がんになっても安心して働き暮らせる社会を構築するため、関係機関や関係団体等と協力したがん患者の仕事と治療の両立の支援 ・相談支援センター・総合相談支援センターでの相談件数の増加 ・相談支援センターとハローワーク等との連携体制の構築	40件 —	20件 —	62件 H25構築	50件 同左	増加する 構築する	5年以内

【小児がん】

指 標	策定時 (H23)	H24	H25	目標	目標期限
○ 小児がん患者とその家族が安心して適切な医療や支援を受けられるよう国指定の小児がん拠点病院と県内の小児がん協力病院や地域の医療機関等との連携体制を構築	—	—	・国15病院指定(名古屋大、三重大等) ・東海北陸ブロック地域連携ネットワークの構築	構築する	5年以内

6 調査、研究の推進

【がん登録の推進について】

指 標	策定時 (H23)	H24	H25	H26	目標	目標期限
○ 地域がん登録の拠点病院等からの届出数の増加	8,983件	8,273件	10,273件	12,011件	増加する	5年以内